

今の代の天台眞言等の諸宗の僧等をやしなうは、外は善根とこそ見ゆれども、内は十悪五逆にもすぎたる大悪なり。しかれば代のをさまらん事は、大覺世尊の智慧ごとくなる智人世に有て、仙豫國王のごとくなる賢王とよりあひて、一向に善根をとどめ、大悪をもて八宗の智人とをもうものを、或はせめ、或はながし、或はせ(施)をとどめ、或は頭をはねてこそ、代はすこしをさまるべきにて候へ。法華經の第一の卷の諸法

實相乃至唯佛與佛乃能究盡ととかれて候はこれなり。本末究竟と申は、本者惡のね

(根)善の根、末と申は惡のをわり善の終ぞかし。善惡の根本枝葉をさとり極めたるを佛とは申なり。天台云、夫一心具十法界等云云。章安云、佛尙此爲大事何可得易解也。妙樂云、乃是終窮究竟極說等云云。法華經云、皆與實相不相違背等云云。天台承

之云、一切世間治生產業皆與實相不相違背等云云。智者とは世間の法より外に佛法を行ず。世間の治世の法を能々心へて候を智者とは申なり。殷の代の濁て民のわづらいしを、大公望出世して殷の紂が頸を切て民のなげきをやめ、二世王が民の口にながし、張良出て代ををさめ民の口をあまくせし。此等は佛法已前なれども、教主釋尊の御使として民をたすけしなり。外經人々はしらざりしかども、彼等の人々の

①第6紙15行②夫=若③第7紙14行④治=地⑤〔に〕一⑥第8紙14行